

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

交流人口拡大プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

石巻市

3 地域再生計画の区域

石巻市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地域の現状

石巻市民会館は、昭和42年に建設され、以来40年以上もの間、市民の文化芸術活動の発表や地域交流の場としての役割を担ってきた施設である。また、石巻文化センターは、昭和61年に建設され、石巻市出身の彫刻家・高橋英吉を始めとする美術資料や毛利コレクションなどの歴史・民俗資料等、石巻圏域内の文化遺産の収集・保管・展示を行うとともに、市民の文化芸術活動の発表の場としての役割を担ってきた施設である。

この両施設については、東日本大震災による津波で壊滅的な打撃を受け、既に解体撤去されており、文化芸術活動の場が分散され、発表する場がない状況にある。

4-2 地域の課題

石巻市民会館及び石巻文化センターは、市民の文化芸術活動の拠点となっていた施設であり、住宅や産業をはじめとする社会基盤のみならず、市民の心も大きく被災しており、「心の復興」なくして真の復興とは言えず、心の復興には、文化芸術とのふれあいや、文化芸術活動による人的交流などを通じ、市民が心の潤いを取り戻し、復興を実感できる心豊かな生活を実現することも大きな要素であることから、新たな文化芸術活動の拠点整備は本市の大きな課題となっている。

4-3 目標

東日本大震災により使用できなくなった石巻市民会館及び石巻文化センターを、地域住民への学習機会の提供を行う生涯学習機能と公開承認施設としての認定を目指した博物館機能を持ち合わせた複合施設として整備するものである。

今年度設立予定の石巻圏DMOが主体となり、近隣の市町と連携した様々な企画を戦略的に実現させるとともに、リピーター獲得やイベント開催時の集客力を向上させることで、交流人口の拡大を目指すものである。

【数値目標】

事業	交流人口拡大プロジェクト	年 月
	イベント開催時（通年）の入込客数	
K P I		
申請時	0 人	平成 2 8 年 3 月
初年度	0 人	平成 2 9 年 3 月
2 年目	0 人	平成 3 0 年 3 月
3 年目	0 人	平成 3 1 年 3 月
4 年目	0 人	令和 2 年 3 月
5 年目	10,000 人	令和 3 年 3 月

※当施設は、令和 2 年度末に完成予定であり、令和 3 年度に 3 0 万人の入込客数を想定している。

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 (3) に記載

5-2 第 5 章の特別の措置を適用して行う事業

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）

【A 2 0 0 7】

(1) 事業名：石巻市複合文化施設整備事業

(2) 事業区分：観光業の振興

(3) 事業の目的・内容

(目的)

石巻市民会館は昭和 4 2 年、石巻文化センターは昭和 6 1 年に建設され、市民の文化芸術活動の発表の場としての役割を担ってきた施設である。

両施設は東日本大震災による津波で壊滅的な打撃を受け、既に解体撤去されており、現在は文化芸術活動の場が分散され、発表する場がない状況にあることから、新たな文化芸術活動の拠点として、生涯学習機能と博物館機能を備えた複合文化施設を建設し、今年度設立予定の石巻圏 D M O が主体となり、この施設を拠点に近隣の市町と連携した様々な企画を戦略的に実現させ、リピーター獲得やイベント開催時の集客力を向上することで継続的な人の流れを呼び込み交流人口の拡大を目指すものである。

(事業の内容)

今回建設を予定している複合文化施設は、地域住民が舞踊、民俗芸能などの伝統文化やスポーツ、ボランティア活動などの生涯学習活動、その活動成果を発表する場としての生涯学習機能と公開承認施設として認定を目指した博物館機能を持ち合わせた複合施設にすることで、一時的に失ったコミュニティの再構築や市民が集う憩いの場としても活用され、継続的な人の流れを呼び込むための主要な施設として整備するものである。

また、ワールドカップラグビーのキャンプ地誘致で活用が予定される石巻市運動公園や近隣の

石巻専修大学がある南境地区における新たな文化芸術活動の拠点として位置付け、複合施設とすることで異種団体間の交流の広がりや新たなコミュニケーション、コラボレーション企画等による地域コミュニティの進化に寄与するものである。

東日本大震災以降、復興のシンボルとなり得る取組の提案や協賛（全国的な各種イベント：ツール・ド・東北やリボン・アート・フェスティバル等）が多数あり、これらを起爆剤に今年度設立予定の石巻圏DMOが主体となって、この施設を拠点に近隣の市町と連携し戦略的（通年での企画イベントに深化）に実現していくことにより、リピーター獲得やイベント開催時の集客力を向上させ、継続的な人の流れを呼び込み、通年での観光客誘致を可能にするものである。

リボン・アート・フェスティバルについては、ここまで歩んできた現地の方々の“生きる力”や“生きる術”に共感した様々なジャンルのアーティストが集まる、いままでになかった総合祭とも言える全国的なイベントであり、内外から訪れる来訪者を市民参画・協働により「おもてなし」するものである。

併せて、建設予定地である南境地区の石巻トゥモロービジネスタウンは、仮設住宅用地として活用しており、現在企業誘致に係る分譲を休止しているが、平成29年度末には仮設住宅の集約により企業誘致に係る分譲が再開される見込みであることから、企業誘致を加速させ、雇用創出の相乗効果を図るものである。

各年度の事業内容

初年度) 地質調査、基本設計

2年目) 複合文化施設実施設計、博物館機能に係る展示実施設計

3年目) 複合文化施設建設工事

4年目) 複合文化施設建設工事、博物館機能に係る展示工事

5年目) 複合文化施設完成、オープン

6年目) イベント実施

(4) 地方版総合戦略における位置付け

地域産業の競争力強化の観点から、創業・新産業の育成を支援するため、各地域の祭りへの支援、文化・芸術・スポーツと関連したイベントの拠点として、来訪者の周遊促進を目指し、既存の観光資源に付加価値を創出することにより市内への誘客を図る事業として位置付けている。

(5) 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

事業	交流人口拡大プロジェクト	年 月
	K P I イベント開催時（通年）の入込客数	
申請時	0 人	平成 2 8 年 3 月
初年度	0 人	平成 2 9 年 3 月
2 年目	0 人	平成 3 0 年 3 月
3 年目	0 人	平成 3 1 年 3 月
4 年目	0 人	令和 2 年 3 月
5 年目	10,000 人	令和 3 年 3 月

※当施設は、令和 2 年度末に完成予定であり、令和 3 年度に 3 0 万人の入込客数を想定している。

(6) 事業費（平成 31 年度まで） (単位：千円)

交流人口拡大 プロジェクト	年 度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
	事業費計		4,000	265,000	1,370,000
区 分	委託料	4,000	—	—	—
	工事請負費	—	265,000	1,370,000	1,855,000

(7) 寄附の見込額 (単位：千円)

交流人口拡大 プロジェクト	年 度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
	事業費計		4,000	265,000	1,370,000
	寄附額計	600	600	600	600
寄附法人	コンサル業	600	600	600	600

(8) 事業の評価の方法（P D C A サイクル）

(評価の手法)

石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議において評価・検証を実施し、平成 2 9 年度以降の実施内容・手法等について改善を行っていく P D C A サイクルを確立することとする。

(評価の時期・内容)

毎年度 6 月末に石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議において、各事業の効果検証を行う。

(公表の方法)

目標の達成状況については、検証後速やかに石巻市公式 W E B サイト上で公表する。

(9) 事業期間：平成 2 8 年 9 月～令和 3 年 3 月

(10) 寄附の金額の目安

3, 9 3 0, 0 0 0 千円（令和 2 年度）

5-3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

地域再生計画認定の日から令和3年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

(評価の手法)

石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議において評価・検証を実施し、平成29年度以降の実施内容・手法等について改善を行っていくPDCAサイクルを確立することとする。

(評価の時期・内容)

毎年度6月末に石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議において、各事業の効果検証を行う。

(公表の方法)

目標の達成状況については、検証後速やかに石巻市公式WEBサイト上で公表する。